

AAINews

APPROPRIATE AGRICULTURE INTERNATIONAL CO., LTD
国際耕種株式会社
〒194-0013 東京都町田市原町田 1-2-3 アーベイン平本 403
TEL/FAX: 042-725-6250 Email: aai@sk9.so-net.ne.jp

乳香の里から

オマーンのゾファール (Dhofar) 地方は世界的に有名な乳香 (英語で Frankincense、学名は *Boswellia sacra*) の高品質製品の産地です。現地では、乳香を生産している木を Magarah、まだ生産していない木を El teys と呼ぶ、と資料には書かれています。乳香の生産地は、イエメンとの国境周辺から東へ東西約 300km、南北 70km 程度の、海岸寄りに面した山の斜面地帯です。乳香は適度の湿度と石灰質の土壌でよく育つようですが、直接雨に当たるのは嫌いみたいで、霧や雲の中に入るような所で良い品質のものができるようです。乾燥している所では育ちません。乳香の木の高さは大きくても 3 m 程度で、樹型はアカシア (*Acacia tortilis*) のように扇状になります。5 ~ 6 月頃が葉の出てくる時期です。葉は 5 ~ 10cm の長さで、大根の葉っぱを病気で少しちぢらせたような形をしています。葉にもやや乳香の臭いがあります。品質は場所によって異なるようで、以下のように 4 段階に分類されるとか (地域名は乳香の木の分布地域)。良い方から、

- 1) El Hojari : 東部地方、
- 2) El Najdi ; 北部及び中部山岳地帯、
- 3) El Shazri : 西部、降水地帯、
- 4) El Shabi : 海岸、谷間部。

一番目の El Hojari はサララ東の Sadah Mountain の Hojar 及び Samhan という所で多くの木を産し、良質の乳香が生産されている。

収穫は 4 月に行われ、一本の木にあちこちに切り口をつけ、そこからたれてきた樹脂を収穫する。収穫物は地域の町で売られる。以前は船で輸出されていたそうです。ここサララのスークでもおじいちゃんが一人で座って売っているので、これが現地産だと思う。今度、言葉の分かる人を連れて、いろいろ聞けたらと思っている。



オマーン及びその周辺



乳香の木 (*Boswellia sacra*)



Dhofar 地方の Qara 山地